

アイリックコーポレーション

インフォデイトがアプリ「保険フォルダ」を無料提供 スマホで保険証券を一括管理

アイリックコーポレーションの100%子会社であるインフォデイトは2017年12月14日から、保険証券をスマートフォンで撮影し、保険内容などを一括管理することができるよう「保険フォルダ」を無料で提供している。同アプリは、保険内容や金額等をスマートフォンのカメラで撮影するだけで、簡単にアプリに反映することができ、家族分の保険証券をスマートフォンで一括管理することで、「いつでも」「どこでも」内容の確認が可能。また、現状の保険内容と、新たに加入を検討している保険との過不足がないかをチェックし、効果的に保険の見直しをすることもできる。

「保険フォルダ」は、高い割合となっており、現在加入している保険証券をスマートフォンで撮影し、保険証券の画像と保険内容を一括管理するためのアプリ。スマートフォンでいつでも保険の内容や、月額・年間の合計保険料を確認することができる。

その保険料は一世帯平均で38万5000円と言われている。一方で、加入している人の割合は5・6%ほど(17年、保険クリニク調べ)となっている。

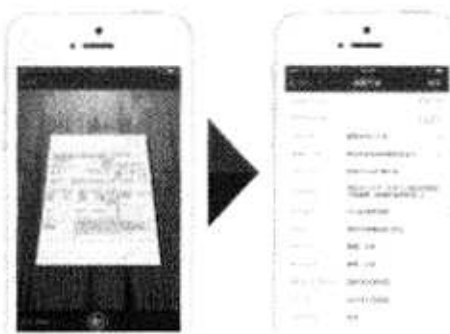
インフォデイトでは、一旦保険に加入すると保険内容が書かれた書類は引き出しの奥などにしまいい込んで、普段目にするのは毎月の保険料のみとなってしまうが、さまざまな原因の一つと考え、同アプリを開発。

形のない商品で普段その存在を実感しないことが多く、必ずしも必要な情報を自動でデジタル化する。アプリ内で管理できる項目は、保険会社名、保険代理店名、保険種類、証券番号、契約者名、保険期間、保険金額、保険料など。一度アプリに情報を取り込めば、「毎月の保険料は分かるけど、損害保険の年払保険料を忘れてしまう」「健康診断結果で不安になったので、保険の内容を簡単に確認したい」「外出先から問い合わせをしたいけれど、書類がないので証券番号が分からない」といった、ふとした時の内容確認など、必要な時に簡単に情報へアクセスすることが可能。

アプリ内では各種保険の解説等を見たり、加入している保険についての理解を深めることができる。例えば、「おすすめの保険」からはインターネットで加入できる商品を、「保険の相談」からは保険クリニクの保険相談を利用することが可能。アプリ内で、現在加入している保険の保障内容を把握しておくことで、新たに加入を検討している保険との過不足がないかをチェックし、効果的に保険の見直しができる。

今後の展開について、「保険フォルダ」は、金融機関や企業とのカスタマイズモデルの展開も可能としており、コーポレートカラー・キャラクターなどのデザイン変更、画面変更、専用機能の開発、相談先の設定変更など、企業の「アプリ」としてリリースすることができるとしている。また、「保険フォルダ」の技術と、同社が独自に開発する「保険IQ」システム、「AS」システムを連携させることに

より、保険証券の画像データから保障内容をレジユアルで分かりやすく説明できる「分析シート」を自動で作成するシステムを開発している。これに加え、「保険クリニク」が18年間、30万件以上の保険証券を分析・蓄積してきたビッグデータとノウハウを活用することで、保険募集人の知識やスキルの差に関わらず、標準化したサービスを提供する。顧客やコンサルタントの不安や課題を解決するアプリとして「保険クリニク」でのサービスの向上と、保険業界全体においてさまざまな保険募集の場面で活用されることを目指す。



情報を自動でデジタル化

保険料のみとなってしまうが、さまざまな原因の一つと考え、同アプリを開発。形のない商品で普段その存在を実感しないことが多く、必ずしも必要な情報を自動でデジタル化する。アプリ内で管理できる項目は、保険会社名、保険代理店名、保険種類、証券番号、契約者名、保険期間、保険金額、保険料など。一度アプリに情報を取り込めば、「毎月の保険料は分かるけど、損害保険の年払保険料を忘れてしまう」「健康診断結果で不安になったので、保険の内容を簡単に確認したい」「外出先から問い合わせをしたいけれど、書類がないので証券番号が分からない」といった、ふとした時の内容確認など、必要な時に簡単に情報へアクセスすることが可能。

アプリ内では各種保険の解説等を見たり、加入している保険についての理解を深めることができる。例えば、「おすすめの保険」からはインターネットで加入できる商品を、「保険の相談」からは保険クリニクの保険相談を利用することが可能。アプリ内で、現在加入している保険の保障内容を把握しておくことで、新たに加入を検討している保険との過不足がないかをチェックし、効果的に保険の見直しができる。

今後の展開について、「保険フォルダ」は、金融機関や企業とのカスタマイズモデルの展開も可能としており、コーポレートカラー・キャラクターなどのデザイン変更、画面変更、専用機能の開発、相談先の設定変更など、企業の「アプリ」としてリリースすることができるとしている。また、「保険フォルダ」の技術と、同社が独自に開発する「保険IQ」システム、「AS」システムを連携させることに

より、保険証券の画像データから保障内容をレジユアルで分かりやすく説明できる「分析シート」を自動で作成するシステムを開発している。これに加え、「保険クリニク」が18年間、30万件以上の保険証券を分析・蓄積してきたビッグデータとノウハウを活用することで、保険募集人の知識やスキルの差に関わらず、標準化したサービスを提供する。顧客やコンサルタントの不安や課題を解決するアプリとして「保険クリニク」でのサービスの向上と、保険業界全体においてさまざまな保険募集の場面で活用されることを目指す。

より、保険証券の画像データから保障内容をレジユアルで分かりやすく説明できる「分析シート」を自動で作成するシステムを開発している。これに加え、「保険クリニク」が18年間、30万件以上の保険証券を分析・蓄積してきたビッグデータとノウハウを活用することで、保険募集人の知識やスキルの差に関わらず、標準化したサービスを提供する。顧客やコンサルタントの不安や課題を解決するアプリとして「保険クリニク」でのサービスの向上と、保険業界全体においてさまざまな保険募集の場面で活用されることを目指す。

より、保険証券の画像データから保障内容をレジユアルで分かりやすく説明できる「分析シート」を自動で作成するシステムを開発している。これに加え、「保険クリニク」が18年間、30万件以上の保険証券を分析・蓄積してきたビッグデータとノウハウを活用することで、保険募集人の知識やスキルの差に関わらず、標準化したサービスを提供する。顧客やコンサルタントの不安や課題を解決するアプリとして「保険クリニク」でのサービスの向上と、保険業界全体においてさまざまな保険募集の場面で活用されることを目指す。

より、保険証券の画像データから保障内容をレジユアルで分かりやすく説明できる「分析シート」を自動で作成するシステムを開発している。これに加え、「保険クリニク」が18年間、30万件以上の保険証券を分析・蓄積してきたビッグデータとノウハウを活用することで、保険募集人の知識やスキルの差に関わらず、標準化したサービスを提供する。顧客やコンサルタントの不安や課題を解決するアプリとして「保険クリニク」でのサービスの向上と、保険業界全体においてさまざまな保険募集の場面で活用されることを目指す。